

石岡瑛子は問いかける。 その仕事に「^{アイ}I」はあるか？



没後10年をへて国内外から再び注目を集める石岡瑛子(1938-2012)。広告、舞台、映画など表現のジャンルから国境までを超え、世界的に活躍したデザイナーです。

本展では瑛子が、東京を拠点にしていた1960-80年代の仕事を中心に、センセーションを巻き起こしたポスターやCM、グラフィックアートからスケッチまで約500点の作品を一挙公開します。

表現者にとって大切なのは「ほんとうの自分力」を培うこと。つまり「私」を磨き抜くこと。瑛子はその信念を胸に、革新的ビジュアルを生み出す創造の旅を続けました。

写真や映像、イラストなど多様な分野のトップランナーたちとの協働作業(コラボレーション)を重ねながら。

本展は石岡瑛子のクリエイションの核となる「I=私」に迫ります。いまなお熱を放つビジュアルと瑛子自身の言葉に、時代をも超越するデザインの生命力を体感してください。

これは“回顧展”ではありません。石岡瑛子は、ここにいます。いまを生きるあなたをインスパイアするために。

石岡 瑛子(いしおか えいこ)
1938-2012

デザイナー／アートディレクター

東京藝術大学卒。1961年、資生堂宣伝部入社。

前田美波里を起用したポスターなどで頭角を現し独立。

70年代にはパルコ、角川文庫など時代を揺るがす数々のキャンペーン、ファッションショーの演出、書籍デザインほかを手がける。

80年代初頭に活動の拠点をニューヨークに移して以降は、

美術及び衣装デザインなど、さらにボーダーレスに仕事の領域を広げ、アルバム「TUTU」でグラミー賞、

舞台「M.バタフライ」でニューヨーク批評家協会賞、

映画「ドラキュラ」でアカデミー賞を受賞するなど世界的評価を得る。

作品集に『EIKO BY EIKO』『EIKO ON STAGE』、

著作に『私デザイン』ほかがある。

© Kazumi Kurigami 1983

私をつらぬく。

石岡瑛子
Eiko Ishioka

I
(私)

デザイン
design

2025年4月19日(土)-6月29日(日)

April 19 - June 29, 2025 Opening Hours: 9:30-18:00 (Last admission is 17:30) Exhibition Closed: every Wednesday (except April 30)
【開館時間】9:30-18:00(入館は17:30まで) 【休館日】毎週水曜日(ただし4月30日は開館)

【主催】富山県、石岡瑛子展実行委員会(富山県美術館、北日本新聞社) 【監修】Team EIKO(石岡怜子、河尻亨一、永井裕明[N.G.inc.])

【特別協力】DNP文化振興財団、DNPアートコミュニケーションズ 【企画協力】迫村裕子(S2)

【特別協賛】JHI/EIDO 【協賛】大谷製鉄、Kコスメ・ボテ、五洲薬品、NiX JAPAN、MAE(2025年4月に前田藥品工業から社名変更)、ユニゾーン、リードケミカル、リッチェル(五十音順)

【協力】PARCO

富山県美術館 〒930-0806 富山市本場町 3-20 Tel 076-431-2711 Fax 076-431-2712

Toyama Prefectural Museum of Art and Design 3-20 Kiba-machi, Toyama City, Toyama 930-0806 Tel +81 76 431 2711

「New Music Media」音楽祭ポスター(1974)部分

石岡瑛子が
ここに
いる

石岡瑛子 | デザイン

【会期】2025年4月19日(土)～6月29日(日) 【開館時間】9:30～18:00(入館は17:30まで)

【休館日】毎週水曜日(ただし4月30日は開館) 【会場】富山県美術館 展示室2、3、4

観覧料 Fee for special exhibition

一般 Adults ————— ¥1500(1300)

大学生 College students ————— ¥1000(800)

高校生以下 High school students or younger — 無料 Free

一般前売り Advance tickets ————— ¥1300

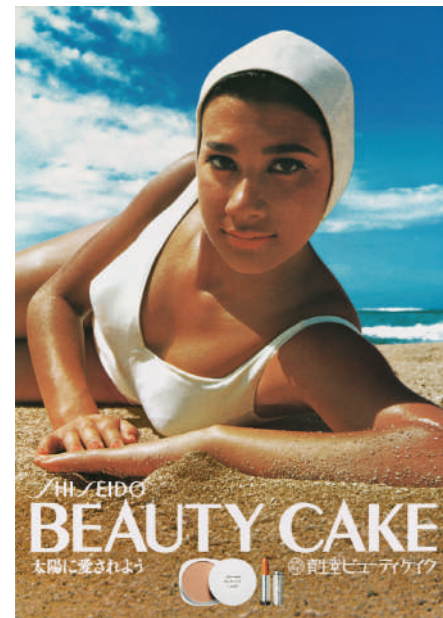
※()内は20名以上の団体料金 ()=Fee for group tickets ※企画展入場当日に限りコレクション展もご覧いただけます。 ※各種手帳をお持ちの障がい者の方および付添者1名の観覧は無料 ※学校観覧、社会教育活動としての児童・生徒の引率者は無料 ※「リピーター割」や「クマ割」を実施中。詳細については、ホームページをご覧ください。

【前売り券販売所(会期前日まで販売)】

富山県美術館、富山県水墨美術館、北日本新聞本社・西部本社・新川支社・砺波支社・販売店、富山大和、アーツナビ、BOOKSなかだ、文苑堂書店、明文堂書店、チケットぴあ(Pコード6S7-140)、ローソンチケット(Lコード57237)など

1幕

知性と品性、感性を磨く -資生堂デビューと新しい女性像の創造-



資生堂に入社した石岡瑛子は、横須賀功光(写真家)、杉山登志(CMディレクター)、三宅一生(ファッションデザイナー)ら同世代のライバルと切磋琢磨し頭角を現す。前田美波里をモデルに起用して日本初のハワイロケを敢行、社会現象にまでなったキャンペーンほか珠玉のポスターを紹介する。

「太陽に愛されよう 資生堂ビューティケイク」資生堂ポスター(1966)

2幕

あの頃、街は劇場だった -1970's 渋谷とパルコ、広告の時代-



1970年代、フリーランスになった石岡瑛子は、若者文化の先端を切り拓くファッションビル「パルコ」に出会い、広告という“衣”の下に「私」のメッセージを託して、話題のキャンペーンを次々に打ち出す。都市空間の熱を表現した劇場型インスタレーションも必見だ(本巡回展オリジナル)。

「西洋は東洋を着こなせるか」PARCOポスター(1979)

4幕

本も雑誌もキャンバスである -肉体としてのブックデザイン-

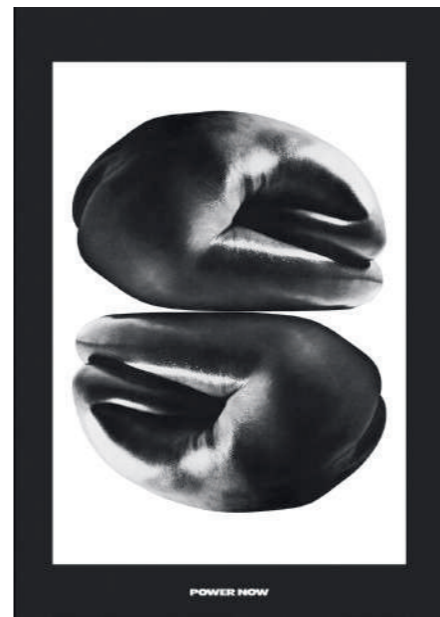


本展では書籍や雑誌、教科書などエディトリアルの仕事もほぼ網羅している。石岡瑛子は本のある種の“肉体”と捉え、カバーや本文組ほかすべての細部までデザインすることにこだわりを見せた。企画・編集・執筆まで携わった仕事も多い。瑛子みずから手がけたイラストの原画にも注目したい。

『詩・毒・遍歴 辻井喬随想集』昭和出版(1975)

着地は熱情であらねばいけない -裸のアートワークに映る私-

3幕



石岡瑛子は広告の仕事と並行して、グラフィックアートの制作にも力を入れていた。藝大時代に制作した絵本や女性初の日宣美グランプリ受賞作となった「シンボジウム：現代の発見」ほかパワフルな傑作群を一挙公開。戦争への怒りを表現した「POWER NOW」などのポスターをぜひ会場で。「POWER NOW」展覧会のためのポスター(1968)

地球のすべてが私のスタジオ -デザインは境界も時代も超える-

5幕



1980年代に入ると石岡瑛子の仕事はさらなる広がりを見せ、NY進出への足がかりを掴む。「地獄の黙示録」をはじめ映画、演劇などのグラフィックワークは観る人を没入感へと誘う。ジャケットデザインでグラミー賞を受賞した「TUTU」(マイルス・デイヴィス)などレコードも多数展示している。

「地獄の黙示録」映画ポスター(1979)

Event

オープニングトーク

「石岡瑛子の「私」をめぐるー再発見したいグラフィックのカー-

河尻亨一氏(編集者・執筆者/本展監修者)、

永井裕明氏(アートディレクター/本展監修者)

【日時】2025年4月19日(土) 14:00～15:30

【会場】富山県美術館 3階ホール

【定員】80名

申込不要・参加無料・先着順

上映会「白雪姫と鏡の女王」

石岡瑛子が衣装デザインを手がけた「白雪姫と鏡の女王」(2012年、ターセム・シン監督)を上映します。

【日時】2025年5月24日(土) 14:00～(106分)

【会場】富山県美術館 3階ホール

【定員】80名

申込不要・参加無料・先着順

ギャラリートーク

本展担当学芸員が会場内で見どころをお話します。

【日時】2025年4月26日(土)、5月17日(土)、5月30日(金)、6月7日(土)、6月13日(金)、6月21日(土)

いずれも14:00～14:30

開始・集合場所 2階展示室4(本展会場入口内すぐ)、参加自由

※当日有効の企画展チケットが必要です。

ご来館される皆様へ

当館ホームページ、SNS等をご確認の上ご来館されることをお勧めいたします。

次回企画展

「富山県美術館コレクション 絵本のひみつ展」

2025年7月12日(土)～8月24日(日)(予定)

Access

- 富山駅北口から…徒歩 約15分/タクシー 約3分/バス1番のりばより乗車「富山県美術館」下車すぐ
 - 富山空港から…タクシー・車 約20分(約9km)
 - 北陸自動車道から…富山I.C.から国道41号経由 約15分
- ※美術館の駐車場(8:00-22:30)は限りがあり、土日祝は混雑が予想されます。お越しの際はなるべく公共交通機関をご利用ください。満車の際は、環水公園立体駐車場など周辺駐車場をご利用ください。



富山県美術館(TAD)

Toyama Prefectural Museum of Art and Design

〒930-0806 富山市木場町3-20

3-20 Kiba-machi, Toyama City, Toyama 930-0806 Japan

Tel 076-431-2711 Fax 076-431-2712 <https://tad-toyama.jp/>



富山県美術館
アート&デザイン